

震災対策について

ご意見をお聞かせください

- ・ 広域避難場所が大井競馬場ですが、津波のことを考えると迷います。行かないつもりですが・・・(60代)
- ・ 防災訓練に参加したいので、年に何回か行って行ける日を増やして欲しい(50代)
- ・ 備蓄は3日分しかしていない。マンション住まいでは場所がとれない(60代)
- ・ 死んだら死んだ時のこと(30代)
- ・ 7日分の備蓄は難しい。場所をとるし、スペースがない。3日分がやっと。何mの津波がきたら、どの辺りまで浸水するのかを知りたい(20代)
- ・ 震災対策を個人でできる余裕がない。緊急時での備蓄食料を3日程度用意してる程度(30代)
- ・ 大がかりなことはできず、食糧や水の備蓄などどうなるのでしょうか。もっと自分を守ることをせねばと考えています(70代)
- ・ 行く先が分かりませんのでとりあえず自宅にいるつもりです(70代)
- ・ 東日本大震災の被災者に税金をあてて助けてあげてほしい(40代)
- ・ 年金生活者にとっては、お金のかかる対策は個人的には無理です。せめて行政がもっと補助してくれればと思います(60代)
- ・ 都内で大地震がきたら、逃げる途中にビルが崩れ助からないでしょう(60代)
- ・ 賃貸住宅に住んでいるため、家具転倒防止器具の設置が難しい(20代)
- ・ 各家庭の問題だが、費用もかかることが多く負担が大きい。いざというときに役に立つか疑問(60代)
- ・ 震災対策については、アパート暮らしなので全くの無防備な状態です(30代)
- ・ 3日分の食糧の備蓄はしているが、7日以上はスペース的にも管理面でも厳しい。火災報知機を設置していない家庭は多くあると思われる。全家庭設置を目指し欲しい(60代)
- ・ 家族で細かいところまでは話し合っていないと感じました。これを機会にしっかりと話し合っているいろいろと決めたいと思いました(30代)
- ・ 首都圏直下地震が非常に不安(?才)
- ・ 水を7日分備蓄というのは置き場もなく不可能ではないか。自治会でも水の備蓄はある。防災訓練はあまり意味がないので、一、二度行ってこの地区のやり方を見た程度。避難場所も無意味では。団地で全員が避難したら絶対に入れない規模だった(80代)
- ・ 現実的には対応がとれない(80代)
- ・ 品川区は財政が23区の中では上位でゆとりがあるから、防災センターを中心に施策をもっと行って欲しい。東日本大震災、原発事故のときの政府、民主、自民の対応にはやる気がみられず困ったものです(60代)
- ・ 一人暮らしの老人が多くなっているので、火災報知機を消火器の設置義務とその資金援助を検討されてもよいのでは(60代)

- ・ 自己責任で行うべき（60代）
- ・ 年をとると動けないので不安（80代）
- ・ 7日分はないが3日分は備蓄している（30代）
- ・ 西小山駅前で休日にやっているような商店街中心のフェスティバルだけではなく、行政がスタンプラリーをやったり、商品を出したりして楽しく避難場所を教えたりするとよいのでは（60代）
- ・ 町会などで指導する体制が必要ではないでしょうか。教育や実際の状況を確認した記録を残すなどして漏れのない対応が必要だと考えます（60代）
- ・ 情報の集めていきたい（60代）
- ・ 区は特に震災被害が大きいと予想される地区住民に対して、公費で強制的対策をさせなければならない。西大井6丁目、二葉3、4丁目等については再点検をして、被害の軽減化のための条例を作り、実施するべき。口ばかりでは駄目（50代）
- ・ 震災対策は意外と日常気にせず平常心。町会などから何も指導を受けたことがない（70代）
- ・ 団地住まいですから、エレベーターが停止するのが一番怖いです。火事も怖い（60代）
- ・ 危険が迫ったときの避難場所を知りたい（80代）
- ・ 災害時の対応について事前に知っておきたい（30代）
- ・ 生活に追われてなかなか考えられないのが実状（50代）
- ・ 火災や地震でもっとも危険なのは家の周りです。家の周りに木材などを置くと放火の原因になり、地震では積み重なる荷物や自転車、バイクなどが問題です。区で徹底的に取り締まるべき（60代）
- ・ 避難経路の確保、及び避難経路脇のビルの看板を撤収する。柱上トランスを地中化する（60代）
- ・ 準備しても死ぬ時は死ぬ（60代）
- ・ その時どこにいるかで生存が決まると思います（70代）
- ・ 改めて我が家の防災対策は不十分だと感じました（20代）
- ・ アパートでの1人暮らし。耐震建築はどうなっているか知らない（50代）
- ・ 避難場所にみんながいっせいに避難したらあふれだしてしまうであろう。早くいける人だけ入れてぐずぐずしていると入れないであろう（50代）
- ・ 自己責任で震災対策すべき（70代）
- ・ いつどこにいるときに震災にあうかわからない。慌てて逃げ惑うことのないように、原発だけは早くやめてほしい。偏西風が吹いたら、東京だって九州や中国、静岡の方から放射能がまきちらされる（60代）
- ・ 個人での備えはしていないが、マンションで備えが一部あります（40代）
- ・ 延焼地区がそばにあるので不安。タブの木（宮脇明さんの説では防災効果大）をせめて公園に植えてほしい（30代）
- ・ 防災訓練の通知をまだもらったことがないが、あれば参加したい（30代）

- ・ 広域避難場所はおろか、避難場所を知らされていない（70代）
- ・ 老人、精神障害者、身体障害者は、震災時に助かる率は少ないと思う。私の場合は、息子が安全に逃げてくれればよい（60代）
- ・ 広域避難場所は、南品川5丁目は海に近いところですが、津波のことを考えると、逆に危険です。見直しが必要では（60代）
- ・ 避難場所は最悪のときに逃げられない場所だと思います（30代）
- ・ 国がどのような震災対策を考えていらっしゃるのか全く解らない（50代）
- ・ 消防団参加の費用を増やして欲しい。品川区独自の支援をして欲しい（50代）
- ・ なったらなった時のこと。家にいるとは限らないし、助けあっていくしかない（50代）
- ・ 備蓄は4日分までしている。家の耐震化も金額がはるのでしていません。広域避難場所を利用したいと思いますし、できるだけ近隣で助け合っていきたいです（70代）
- ・ 人口の大都市圏一極集中について対策を打つべきだと考えます。特に、東京都は、人口を減らすことで、震災対策をはじめ、様々な問題を解決できると考えます（30代）
- ・ 八潮や大井競馬場などの避難所に行けるのでしょうか。火事を起こさないことが大切。通電の際、発火することが多いと聞きます。それが感震ブレーカーですか。これを安価で提供してほしい（60代）
- ・ 死ぬときは死ぬ。オリンピックの時に災害がきたら大変（40代）
- ・ 時に起きる地震で、我が家の弱いところをかくにんして、多少の予防をしていますが、願わくば家族がいる時にきてほしい（70代）
- ・ 何をすることもお金も場所もないし、何が何でも生きねばとは思っていない（70代）
- ・ 家族で話し合い、防災対策をしていかなければならないと思っている（30代）
- ・ 3・11のようなことが起きれば、逃げる時間も逃げ場もないのではないかと（70代）
- ・ 耐震補強工事の見積りで、700万円でした。すごく高すぎます。7～8割補助金を出して欲しい（70代）
- ・ 体力的に3年前の大震災のような震災が起きたら、もう生きていられるとは思っていません。透析をしている身ですので、その時が来れば運命だと受け止めています（70代）
- ・ 大崎周辺に住んでいる。高層マンションとともに区画整理が進み、震災時の避難・災害対策などは改善されると思うが、区内全地区がそうではない。都の地域危険度測定調査でも、戸越、中延地区はリスクが高い。現住環境を極力維持したまま、リスク低下を一層検討すべき。毎日思うが、電柱は地下化すべき。震災時、電柱は絶対邪魔になる。交通事故防止にもつながる（50代）
- ・ 来たらそれまででしょ！（60代）
- ・ 賃貸マンションなので、壁に傷をつけられないため思うように、転倒防止器具をつけられないのが悩みです（60代）
- ・ 他の地域のように防災グッズの貸出、不審な振り込め詐欺の電話を知らせるアラーム等配布して欲しい（30代）
- ・ 私はストマー保有者なのですごく心配です（70代）
- ・ 個人的気をつけたり、備蓄ももちろん大事だが、地域の話合いももっと持てると良い

と思う（５０代）

- ・ もっと道を広くして欲しい。古い家の敷地をひっこめさせるようにして欲しい（５０代）
- ・ 家具は転倒しない低いのを置いており、出来る限り家具を置かない生活です。家の庭に大きなポリタンクの水ためを用意しています。建築も重量鉄骨で小さな家で大丈夫な様に深い基礎にしています（８０代）
- ・ 年金生活者にとって、備蓄するのも少しづつしかそろえられない（５０代）
- ・ 来る時には来る。こわがってもしょうがない。その時のための準備を心掛ければよい（４０代）
- ・ 広域避難場所について、えらく遠いところで、そんな遠いところまで行けるのか、また、津波の心配はないのか。地域センターなどに分かる冊子などを備え付けられていると思っている。区内各所にある掲示板に明示すると分かりやすい（？代）
- ・ 広域避難場所はどこですか（？代）
- ・ 区で震災対策としてどうすべきかをもっと詳しく周知させて欲しい（４０代）
- ・ 備蓄品などは公的な物でまかなえればと思う（６０代）
- ・ 各自の責任で対策を（７０代）
- ・ 古い家屋、ビル、団地、建物の耐震化をするべきです。地震などでの倒壊や火災などでの被害増大が心配です（６０代）
- ・ 震災があった時は食料、水の備蓄をしていました（４０代）
- ・ 家具転倒、ブレーカーの設置などあらためて考えさせられ、早く実行したいと思っている（８０代）
- ・ 震災はこないことを願っています（６０代）
- ・ 私は戦争を経験し、その時の火災を経験しています。そういう時は、ただ逃げるだけです（？代）
- ・ 年よりは何をしようにも間に合わないのでは（？代）
- ・ 区の一斉放送が聞き取りにくい（４０代）
- ・ 信用できる物が分からない（８０代）
- ・ 無料の震災グッズ等を区民に配布して欲しい（２０代）
- ・ 家族の災害時の集合場所は、何日後になるかは分からないが、結局たどりつくのは鹿嶋市にある（８０代）
- ・ 品川区の住宅密集地域に住んでいる。密集しないように、小さな公園を作るなど、法規制して緑化などを進めてください。本当にあぶない。かつて下町が災害にあったことを忘れないで（７０代）
- ・ 自分で気をつけます（？代）
- ・ 都営住宅に住んでいますが、すべての都営住宅に感震ブレーカーを設置して欲しいと思っています。自治会には、水の備蓄はあるものの、食糧まではいきませんので、個人が頑張るしかありません（６０代）
- ・ マンションの建主の話では、ここの低層マンションが地震で崩壊する場合には東京中の建物が壊れて地震保険はでないでしょうと申します故、地震保険はかけていません（７

0代)

- ・大地震の起る可能性が高いのに、原発の再稼働は絶対に危ない。国民全員で節電や代替エネルギーの開発にもっと努めるべき(60代)
- ・寿命ですからなるがまま(70代)
- ・震災ブレーカーはどうすればできるの?高額は無理(70代)
- ・一部対策をしているが、なかなか毎日の生活に追われ落ち度が沢山あると思う(80代)
- ・簡単な防止器具の設置ぐらい(60代)
- ・高齢になると遠い避難所までは行けないと思います(60代)
- ・組織的な半強制的な訓練が必要。マンションの防火防災管理者をやっていますが、住民に高齢者が多くとても心配です(60代)
- ・対策が遅すぎる。火災が起きたら避難所には行き着けない(60代)
- ・食糧、水の備蓄不足は感じているものの、30m²に2人暮らしでは収納に限界を感じる(20代)
- ・本当に大変な時は身一つで逃げるしかない(60代)
- ・食糧、水の備蓄は必要だと思っているができていない(40代)
- ・我が国は地震国。それなりに覚悟して不断の努力をしている(70代)
- ・東京は特に震災対策をして欲しい(70代)
- ・広域避難場所が遠すぎる(50代)
- ・国の行政機関の建物、外国大使館、東京証券取引所、各政党の本部の地方分散による敷地の活用で対策をしてください(?代)
- ・防災訓練には参加したいが、仕事が終わらないため(休日出勤など)出られない(30代)
- ・共同住宅(マンション)に住んでいるので、地震が起きたらそのときのことと諦めている(高層に住居を構えている、1人住まい)(60代)
- ・忘れた頃にやってくる自然災害。今どきの科学総動員でも、叶わぬ悲劇かな。かねかけより、感性のさびを知れ(60代)
- ・区は区民の震災対策に真剣に取り組んでいない。つめたい。再開発にうつつを抜かしている(70代)
- ・やれる備えはなし。火災防止の為、揚げ物はやらないと決めて、いざという時は身の安全の第一を図る(60代)
- ・火災報知機、消火器は大家さんが設置してくれました(30代)
- ・二葉3丁目は木造密集地で、その上高齢化が進んでいます。住民参加の防災訓練などに積極的に参加できることを期待(70代)
- ・品川区防災ラジオを置いて使用しているので安心です(60代)
- ・恐怖心をあおる報道が多く、迷いがちである。天災である以上、できる限り備えをしっかりとって対処したい。客観的な情報が必要と痛感している。現在の科学では予知は不可能だと思う(70代)

- ・ 東京ガスは利用者の負担がなくても地震を感知してガス供給がストップされるが、東電は利用者次第と言うのはおかしいと思う。高齢者や不在者はブレーカーを切ることができないし、当該ブレーカー設置費用は高すぎる。広域避難場所は遠くて数が少ない（40代）
- ・ 自己管理でしょう。していない者は死ぬ。その時こそ、中国、韓国が入り込んでくる。日本で働いている中国人、韓国人は、年長の男性と結婚することに力を注いでいます（年金、相続）。震災時、中国人、韓国人が恐いです。ここは日本です（60代）
- ・ 広域避難場所にはそこへ行けるのか、安全なのか疑問（60代）
- ・ 広域避難場所が分からないので、各世帯へマップを配布して欲しい（30代）
- ・ 海の方へにげるのがいやなので家族で高台へきめています。（60代、70代）
- ・ もし震災になると避難場所に皆集まるので、今から禁煙啓発を（40代）
- ・ 古い消火器を粗大ゴミに出せないのが、困ります。（50代）
- ・ 震災対策は放射能（原発事故）と組み合わせて考えるべき。上記の質問は対策内容が一般的（常識的）過ぎる。（70代）
- ・ ⑧について近くに他の地区のがあり、私達のは遠い所です。（70代）
- ・ 震災対策これからします。（60代）
- ・ 地震研究家は、何もなかったときのことを考えず、おきる前提でアラートをだしてほしい。地震がくる可能性がたかいのに湾岸に高層の開発をつづけるのは... 防波堤づくりなのか？（30代）
- ・ 食料はともかく、せまいので水を家族分7日はむりです。（50代）
- ・ 大地震には、あきらめています。品川区の現状をみて近未来に起こる大地震に備える対策なんて焼け石に水的なことしかできないと思います。（60代）
- ・ 他県に比べて東京は大被害の（電車が止まる位）経験がないのでどうなるやら（70代）
- ・ なかなか自主的に用意できないので、防災訓練のときにセット販売してくれたら購入する（非常食や水など）（20代）
- ・ もっと食料を備蓄しなければと考えています。防災訓練にも出たいと思いますが、足が悪いので大変なので参加していません。申し訳ないと思っています。（60代）
- ・ ①元々、倒れて危険な家具は置いていない。⑤7日分の水などを保管するスペースがない。他の対策として、通勤には長時間歩けるようなクツをはく事が多くなった。又、LEDライトを持ち歩いている。（40代）
- ・ 共産党が大井町を守っています。自民党はウソツキです。民主党と自民党の約束を国民の前でしたのにまだアベははっきりしてない。恥知らず。国民をなめるな。（70代、80代）
- ・ 7日分の食料・水、家族の人数分はけっこうなスペースです。自分たちのためなので仕方ないが、せまい我が家では大変です。防災訓練はとても必要だと思うが、うちの町会や地域ではやっていない。（40代）
- ・ 津波対策として屋上にのぼらせてもらえるマンションやビルを（40代）
- ・ 自然災害は何時我々の前に突然現れるものです。それに対応するのは自分一人の力で対

処できるものではないと思います。国は初め、自治体の手助け、知恵をお供に最小限に被害を小さくしていけば。(70代)

- ・ 地震が多いのに、家庭でもっと考えなくてははいけませんね。(自己反省) (60代)
- ・ 食料、水等は3日分位しかおいてありません。住んでる場所が下町の混み合った住宅街で・つでにげるのが得策かと思います。(60代)
- ・ 町会にもっと(自助防災)補助金を考えて下さい(50代)
- ・ 区役所の防災訓練に行っているが、実用にあった勉強会ではない。町会長達が勉強すべきこと、下の物が口出し出来ない。一人の町会長があっちの頭、こっちの頭で、体一つなのにあんなに役を持って本当に災害が来たらどうするのか、楽しみです(皮肉)講師は実際に避難場所を見て、その地域にあったアドバイスの方が余程勉強になる。机上では絵に書いた餅。帽子、ベストいただいても使いようがない。税金の無駄。心のどこかにくるはずがないという?にただ行事をしている気がする。(70代)
- ・ 年金生活では防災用品は高価で買えない。「都営」に住んでいる事で②③あるが、各家庭の防災知識不明。区報ラジオテレビのニュース広く防災行動を伝えてほしい。(70代)
- ・ 東大井4丁目です。大井競馬場歩いて40分(区民公園も同じ)もっと近いところはないか(60代)
- ・ 前の東京五輪にのった現在のインフラが老朽化して補修がさんざんさげばれ、何兆円もかかるというのに、結局ムダに終わる超巨大再開発こそその対策で社会福祉だと言わんばかりの有様。下の項目にある超巨大バカ道路も、前の貴党チラシのとおりなら第一の出火地帯にというのなら、「火を出さない」事が最大の防火対策である以上、国の経済指数を稼ぐための外交上の見栄で国に殺されては話にならない。(40代)
- ・ 震災対策まで気がまわりません。あまりに現実に問題が多すぎて・・・(60代)
- ・ ⑧は大井埠頭方面なので、年齢的にたどり着けないような気がする。少々不安な思いです。(60代)
- ・ 東日本大震災から日にちが経ち、さらに子供ができて日々の生活に追われてすっかり対策を怠っています。これをいい機会に子供のためにも食料、設備を整えたいと思います。(30代)
- ・ もう、現役世代ではないので、震災に遭った時には、東京では仕方がないと、覚悟している。(60代)
- ・ 首都直下地震が近づいている今、何処か他の地域で生活したいと脱出を考えています。(70代)
- ・ 大自然の物質で考えるより各自がきめこまかく考えるべきです。(70代)
- ・ 7日分の食料水は大変です。(40代)
- ・ 全ての公共事業に対しての実施後の利益の揭示及び責任者の所在をはっきりさせて欲しい。(30代)
- ・ 鉄筋コンクリートのアパートで、基礎はコンクリート杭が硬い地層まで打ち込まれて居り、アパートの部屋が最大の安全な場所と心得ております。9階までエレベーターの使用は出来なくなると覚悟しております。(80代)

- ・色々と設備も必要ですが街での自転車、樹木が人が歩く道路に大中にはみだしていて、震災時車の流れのある所は、とても危険だと思う。自分の住んでいる所、仕事場責任持って整理する事を願う。(70代)
- ・対策を行う為の金がない。(50代)
- ・震災対策については、正直何をしたら良いのかわかっていないのが現状。どこを見れば(どこに行けば)そういった情報が得られるのか知りたい。⑥など実施しているかどうかも知らない。(30代)
- ・個人でもよく考えていないので反省。(80代)
- ・介護従事で避難場所まで行くのをためらってしまう。車椅子での生活はスペースも時間もとるので、周りに迷惑がかかるし、季節によっては、体温管理等、避難場所では難しい(50代)
- ・必要以上の階高は太陽の光をうばい住宅地域の意味がうばわれる。連続してビルが建てば完全に太陽の光を完全にうばうものであり都市計画が無茶苦茶である。パリの団地参考にするところは多くある。長期的な点もみのがせない(人口減)(光のエネルギーを大切に20年、30年先を考えること)(70代)
- ・地球で生命体を維持し生きるを永遠に。特に日本国土は震災を避けて通る事の出来ない我が国土。だから防災対策の強化です。3.11で私は強く信念を固めて、国民の血税を使わず、経済人や国民有志をつつにして水陸を有効に活用して、救助、支援を主体に船を運造運動中なり。2018年迄にはまず1船と、世界から集まるオリンピックに間に合うよう、世界から安心して来られる東京へと少しでもお役に立ちたい。(70代)
- ・関係ない話です。森さんがオリンピックの委員長です。アイススケートの時かんじんな時ころぶ話しをしていましたが、本当のことですが、本人が一番気にしているのに、不安をあおる発言をしてどうするのです。オリンピックの時には森さんはオフレコでは絶対何も云わさないでいただきたいです。子供の育て方も知らない人が議員をやめて良かったです。(遅いけど)(70代)
- ・広域避難場所→大井埠頭で本当に大丈夫か?(40代)
- ・〇を付けながら、気が付いたが、設備面は何とかしているが日常の防災対策(食料・水の備蓄など)は不十分だと自覚した。実行していくように努めたい。(70代)
- ・⑦集合場所は一人などで決めていない(70代)
- ・消火器が古いので、さっそく買い替えます。(70代)
- ・アパートなので、もしもの時にドタバタしてしまうと思う。(40代)
- ・あまり考えていない(60代)
- ・自分がこまるのでやっている(70代)
- ・自分の命は自分で守る(人をたより過ぎない)・不可抗力で死んでしまわない工夫。(70代)
- ・住民にヒナン場所等の情報提供重要。(60代)
- ・震災については充分わかっているが、身体障害者は行動が出来ないので広域避難場まで遠くて行けない。この方法を???いない老人は死ぬほか仕方がない(80代)

- ・ アパートに入っているとなかなか地域の情報が入ってこない (30代)
- ・ ⑧近所に広い場所などなく、何百人も千人もの人が入りきれません (70代)
- ・ ①耐震対策が先です。② (1) 火災対策なら他に有る例えばスプリンクラー設置 (2) 防波堤築造③特?施内の完備 (2号線の地区の住民は無料、特?とする等)・貯?税金を有効に・他にやる事はいっぱいある (80代)
- ・ 各家庭の問題 (60代)
- ・ できる事をなるべくしておこうとは思いますが、こればかりは運です。自宅にいるとは限らないし。(50代)
- ・ 食料・水を3日分程度は備蓄しているが、7日分は無理です。(60代)
- ・ ①②③④等は年金生活者はよゆうがない。(70代)
- ・ 準備する程ゆとりがない。(60代)
- ・ 防災訓練や災害時の集合場所などの情報提供が不十分では?! (60代)
- ・ 震災対策は特に何もしていない。只大災害が起こらないことを祈るのみ。(神だのみ) (80代)
- ・ 町内会の存在等が全く解らない。近所で助け合う事も出来ない。(60代)
- ・ 単身でしかも古い建物の一部を借りている者です。大家さん、オーナーさんが設置すべきだと思う。(70代)
- ・ ひとり暮らしです。いつも住宅に居合わせるとは思いませんが、万が一の時には集まる場所を決めています。又、集合住宅ですので、皆で助け合って暮らすことを先月、総会で話し合いました。(60代)
- ・ 住まいがマンションなので何もしていません。77歳になり、もうこの世に未練もありません。なるようにしかならないとあきらめています (70代)
- ・ 何はともあれ、家族一同が集まれること。そして枚?を含む活動に尽力する!と決めています。(80代)
- ・ 飲料水の備蓄は鮮度管理や保管スペースの確保ができない。(70代)
- ・ 年齢とともに参加がおっくうになりました。(70代)
- ・ 地震が起きたら動けないかとおもいます。(60代)
- ・ ④と⑦はさっそく実行します! (60代)
- ・ 家具転倒防止器具が飛んでしまうのもっとしっかりしたものが欲しい。(80代)
- ・ 日頃の対策は無に近いです。これからは、充実して行きたいと思います。(80代)
- ・ 災害の時の確認 (高齢者) で子供が近くにすんでいると対象外のようにですが、子供だって海外や遠くにいることもある。全員を確認すべきです。(70代)
- ・ いつ大震災が起きてもおかしくない日本!日々の心掛けにより、被災を最小限にできる様にしている。(50代)
- ・ 無駄に税金をつかうより、防災の最低限必要なものを全せたいにくばるとかはどうだろうか。(30代)
- ・ もともと面倒な近所付き合いがイヤで入居したこともあり、マンションでは連帯意識も薄く、管理も会社任せ。これ以上住居の連帯感は深まらない。(70代)

- ・ 義務教育家庭を中心に市区町村の管理が好ましいかと思えます。(30代)
- ・ ①はめんどろ③?いにくい。(すてにくい) ②④知らない。⑤もったいない。⑥くだらない。⑦うちに居るしかない⑧しらない。(80代)
- ・ 防災は個人がやらないとだめだから一つ一つやるのがだいじであります。(60代)
- ・ 何時もいいもっと (70代)
- ・ 転倒防止器具の取り付けが無理、高い所、力がない。③④消、震ブレーカ料金が⑤高い⑤マンションでコミュニケーションがないから出しにくい (70代)
- ・ 防災に関する意識の不足の感あり (80代)
- ・ 神戸の地震では被害の多くは、地震による停電後の通電時に発生した火災が原因であると言われている。全戸に感震ブレーカを一日も早く設置すべきだ。(70代)
- ・ 震災対策について→根本矛盾～もはや手遅れの末期ガン「東京一極集中のメリットよりデメリットが拡大」～20年ほど前の「経済白書で分析済み」昔、自民党さえ「多極分散型の定位圏構想」道州制、連邦制構想など、「全国総合開発」があった。それをつぶしたのは誰か?その犯人を見逃すアンケートは「百害あって一利(理)なし」だ。(70代)
- ・ 品川区は東京都の密集家屋地帯に指摘されている。区全体としての防災対策を考えるべき。(80代)
- ・ それどころじゃない税金がはらえないと全て、終る。(40代)
- ・ 地域連携の機会があまりない。火災になりそうな場所が近所にあるが、地震の際にどうすればいいのか、細かい支持は来ていない。(30代)
- ・ 引越して5年ですが、調布市は「すべて調布駅が中心で」進んでおり、その他の地域はほったらかしで不便の上ありません。交通(若い方みんな自転車です。買い物ですが、老人たちはそうはいきません—アパートにすむ若者と老人村(?))、生活上の食品、購入、医、・・・とくに柴崎駅は・・・。議員は柴崎駅にきて1日観察して下さい。(80代)
- ・ 7日分以上の食料・水の備蓄がおろそかになっている。消費税もどんどんあがりつい備蓄品は消費期限をきらしてしまいがちでよほどまめにチェックしないとムダになると思いついめんどろでやっていない。(40代)
- ・ もっと頻繁に訓練を体験したい。ぬるい訓練に年に1度位しか誘われない。(40代)
- ・ 食糧、水の保管場所がない(40代)
- ・ 各個人が自分で調べなくても確実に記憶に残るような施策を打つべき(20代)
- ・ 津波が来たらさらわれるかもしれません。私は腰が痛く、歩くのが楽ではないので、遠くには逃げられません。一応無事な時は、ことが収まってから家のあったところに戻ってくるようにしています(80代)
- ・ 自治体に入っていない人はどうすればいいのか?(?代)
- ・ 食糧の7日間以上の備蓄は家が狭く無理。経済的にも無理(70代)
- ・ 震災の時火災が発生するととても怖い(70代)
- ・ 人が生きるのに水と土と少しの食物ときれいな空気が要ることを普通に日常で話し合っって何が自分達には用意が必要か話し合うと良い(70代)
- ・ そんなお話にでくわさないというか、そういう場所には出向かないことだと思えます。

知りたいです。知ってもひとりで行かれませんか（80代 江口）

- ・ 家庭でやっています（60代）
- ・ 自然災害は、いつ、どこにいる時、何をしている時に起こるか分からない。日頃から冷静な判断が出来る様な心の準備をしておかなければならないと思っている（70代 橋本）
- ・ 災害時自分の居場所によって事が変わると思うと不安です（70代）
- ・ 個人の範囲は自己責任。公共の政策を明確にし、周知させることが大切（80代）
- ・ 地域での避難訓練をやるべき。いざという時にスムーズにできないでしょう（50代）
- ・ 原子力発電についてですが、確かにないほうがよいと思います。私が望むのは、もっと徹底した節電を呼びかけることです。震災直後は、出来たではないですか。
- ・ 町のネオン、道路の街灯。そうしたら原発は要らなくなるのではないのでしょうか（40代）
- ・ 準備の必要は感じているが、未だに仕事があるので、時間や場所、経済面で思うようにできない（70代）
- ・ 家具の転倒防止器具は使用していないが、家具の設置方向や他のもので転倒防止策はとっています（50代）
- ・ 津波のときここら辺がどの程度被害を受けるか、知らない。（40代）
- ・ 感震ブレーカ設置の補助を切に希望。（60代）
- ・ 人が集まってきても、備蓄食糧等絶対的に足りない現実。老朽化していて大地震が起きたら学校だつてくずれそうです。個人にできる対策には限界がある。（20代）
- ・ 設備は必要だが、一時資金がないので（40代）
- ・ 地域で防災訓練なんか行なわれていない。行われているとしたら情報が周知徹底されていない。新聞・テレビ・ネットを見ることなく町内会にも入っていない人への情報伝達法をもっと考えるべき。（40代）
- ・ 借りている部屋では、思うように家具転倒～を取りつけるのは躊躇してしまう。1人暮らし(1人)なので、集合場所に行く気はない(広域避難所へも)。消火器は条件付無料配布があると助かる(高齢者・障害者他)（50代）
- ・ 災時に一番重要なのはマナーであると心得ているため自分の身はなるべく自分で守ります。（20代）
- ・ 人家の中を通過して避難場所へ行く危険の場所を通過してどうやって行くの？（70代）
- ・ 家族はいないので（60代）
- ・ 日々の暮らしでなかなか手がまわらないのが現実。実際に起きてしまってから後のそなえが不十分すぎる。行政のフォローに期待が持てないのは阪神を見てれば判る。かといって自助自衛も限られる。（40代）
- ・ 学校選択制、高層マンションの増？により近所付き合いのないこの土地で地域の防災訓練などは地元の人だけの行事でしかない。（30代）
- ・ ⑤食料・水→7日分備蓄できる場所がありません（40代）
- ・ もっと公園を犬、ネコなど遊べるような用途も考えて、避難場所も少ない。遠い。（60

代)

- ・地震対策は急がなければと思っております。しかし首都圏地震の場合どこまでの被害を想定したら良いか分かりません。自分自身の生命を守ることが第一で、その時に応じて臨機応変に対応する様家族には伝えてあります。集合場所へ向かえる状態ではない時、かえって危険だからです。(70代)
- ・小建設で??物出来ない その以上の遠慮は行けない。(80代)
- ・広域避難場所にたどり着くことは不可能です。何のための避難場所か。(形だけなら不要!!)(60代)
- ・足が悪いので避難場所まで行かれない。(60代)
- ・意識はしている。覚悟に対して少々の精神的準備をしている(70代)
- ・鉄骨家屋に住んでいる。古い住宅なので、倒壊はまぬがれないと思うのであきらめが先行してしまう。(40代)
- ・聴力障害者がいることをすべての関係者、民間人が認識し、災害時の避難所には、情報は文字で届けてほしい。はり紙をするスペースを作っておいてほしい。(70代)
- ・娘、母が車イス使用者の為、エレベーターが止まると避難時が心配しています。(60代)
- ・対策等何をして良いのかわからないのでパンフ等あれば参考にしてみたいです。(40代)
- ・でかい地震がきても運がよければ、生きてるかもしれないし、時には死ぬこともそりゃあるでしょう。人間、自分の死に方は選べないそうですし。関東大震災からすると、もうそろそろでかいのが来る頃だそうですね。それは、自然な事(風が吹いたり、台風が来たり)ですから、生きながらえようとじたばたしても、無意味なのではないかと・・・。(50代)
- ・古い家なので耐震の対策がちょっと遅れているので不安があります。(70代)
- ・転居してきたばかりですが早めに食料、水等の備蓄はしないと、と思っています。(30代)
- ・防災も個人がその家にあった対策をする事と、地域の事ももっと知っていかないとと思っています。(60代)
- ・実際に起きたら大混乱になると思う(70代)
- ・町会も動かない。わからない。(60代)
- ・広域避難場を増やせ。(20代)
- ・この問題についての意識を高めたいと思っています(70代)
- ・昼間、周囲には高齢者ばかり、何かあった時の介助する組み合わせなど決めた方がいいと思う。(40代)
- ・もうなる様になれと思っている。私達夫婦はもうじきこの世から消える人間です(80代)
- ・ガスは自動的に停止します。電気も1500円で可能と報道で知りました。値上げばかり考えず、消費者=国民の安全に目を向けるべき。それは企業の社会的責任である。震災での東電の態度(会見)に一片の社会的責任が見られず、腹が立っています。(60代)
- ・いつ来てもおかしくない状況と言われているが、不安です。(60代)

- ・ 避難場所迄道が確歩されていないので、実際に避難できるか疑問。延焼を防ぐ為の広い道路を増やして欲しい。(50代)
- ・ 我が家は古いし、関東に地震があればあぶない??ある。(80代)
- ・ ⑧遠すぎて歩けない(80代)
- ・ 天災はどうなるか予測出来ない。(70代)
- ・ 引越したばかりなので準備中。(40代)
- ・ 一人で住んでいるので、小さい部屋なので(50代)
- ・ テレビ等を見ていると、テレビ局などの備品に転倒防止器具を設置していないようだ。書類の山備品の積みかさね、東日本大震災に学んでほしい!昔の酒屋、本屋の棚には転倒防止の為の工夫がされていた!コンビニ等の棚にも先人の知恵を取り入れてほしい(50代)
- ・ 現状は区で防災訓練は必ず参加しております。現役の時は会社で月に一回は行っています。若い時に約一週間東京消防訓練所で実施されている内容等勉強させて頂きました。今でも個人的に住居付近の巡回を夜中に行っております。(60代)
- ・ 飲料水は区や都で用意してほしい。個人で用意するにはせいぜい3日分くらい。狭い家に多くの備蓄はムリです。(40代)
- ・ 避難場所は役人が机の上で決めたもの、実態にあわない所が避難場所になっている。(70代)
- ・ 防災公園を増やしてほしい(50代)
- ・ 昔から心配していますが、地震で私たちが最終的に、にげるのは大井ふ頭です。津波や液状化の心配はないのですか?(50代)
- ・